

八幡市のまちづくりのための「市民アンケート調査」

グループインタビュー（主な結果）

1 目的

第5次総合計画の策定のため、若い世代からみた八幡市の魅力や課題、八幡市を居住地として選択した理由、結婚・子育てについての考え等について、市民の意見を把握する。

2 調査方法

- (1) 調査方法 グループインタビュー（座談会形式）
- (2) 調査対象 転入者調査(他市から八幡市に転入されてきた25～44歳（平成28年9月1日時点）の方)の回答者のうち、インタビューへの協力意向を示していただいた方

3 実施状況

- (1) 開催日・場所 平成29年1月14日（土） 八幡市文化センター 2階 第1会議室
- (2) 参加人数 7名（独身者4名、既婚（子どもなし）2名、既婚（子どもあり）1名）
※性別 女性5名、男性2名
※居住地域 八幡地域3名、橋本地域4名

4 調査結果

(1) 日ごろのライフスタイル・活動エリア（平日・土日）

- ・平日は、仕事のため、勤務先との往復という過ごし方が多い。橋本地域居住者は、橋本駅付近にスーパーがないため、樟葉駅で途中下車して買い物をしている。24時まで開いているスーパーの利用者もいる。
- ・休日は、自宅近くのスーパーやくずはモール、イオンモール久御山で買い物をしている。

(2) 八幡市の魅力と課題

① 魅力

- ・静かで穏やかに暮らせる環境がよい。自然が感じられる。緑や景観を残してほしい。野菜の無人販売がよい。
- ・散策して楽しい場所がある。（石清水八幡宮、背割堤等）
- ・京都や大阪への交通アクセスが便利である。国道沿いにお店がたくさんある。
- ・八幡市文化センターでさまざまな文化的な催しが行われている。
- ・夜の防犯パトロールや防災無線でのお知らせがあり、安心である。
- ・子どもを連れて歩いていると声をかけてもらえる。町内会対抗運動会等、住民の交流がある。
- ・市役所の窓口対応がよい。
- ・土地や水道料金が安い。

② 課題

- ・八幡市駅前の賑わいがなくさびしい。安居橋付近の古いまちなみが活用できないか。
- ・橋本駅の周辺にスーパーがなく不便である。
- ・八幡市駅から欽明台方面（すくすくの杜、量販店等）へ直接行くバスがなくて不便である。
- ・コミュニティバスと路線バスのルートが重なっている。路線バスがないエリアを運行してほしい。
- ・阪急の西山天王山駅方面へのバスを運行してほしい。
- ・最終バスの時間が早い。夜にバイク等の爆音が聞こえる。夜に中高生がコンビニ等でたむろしている。
- ・坂道が厳しいので自動車がないと暮らすのが大変。
- ・橋本駅周辺の道が暗く、夜道を歩くのが不安である。不審者が出ることもある。
- ・壊れそうな古い空き家がみられる。
- ・橋本地域の賃貸物件はプロパンガスが多く、都市ガスの物件を探すのが大変であった。
- ・プラスチックごみの収集回数が隔週1回と少なく、回収回数を増やしてほしい。
- ・石清水八幡宮が八幡市にあることが知られていない。初詣と桜のシーズン以外は観光客が少ない。
- ・市役所の情報があまり入ってこない。
- ・国民健康保険の費用が高い。

(3) 八幡市の居住としての魅力

① 八幡市を選んだ理由

- ・八幡市出身。転勤で大阪勤務になったため実家に戻った。
- ・静かな環境が気に入っている。戸建ての賃貸物件があったので八幡への転居を決めた。
- ・知人が八幡に居住していて八幡を知った。通勤で高速道路を使うので、八幡への転居を決めた。
- ・京都にあこがれ。起業するため、顧客のいる京都と実家へのアクセスと家賃を考慮して八幡市を選んだ。身体障害者3級への支援があることも八幡市を選んだ理由。
- ・大阪・京都への利便性がよく、不動産が安いことから八幡のマンションを購入した。
- ・実家が楠葉。枚方でも探したが家賃が安いので八幡を選んだ。一駅でくずはに行けるのも決め手の一つ。
- ・八幡市出身。結婚後大阪市内に住んでいたが、子どもが生まれるため実家近くに転居。待機児童ゼロも重要。

② 定住促進の取り組みについての考え

- ・人を呼び込むためには、医療機関、幼稚園・保育所、小中学校が近くにあることが重要である。
- ・引っ越してきた時に子どものいない夫婦が、子どもが生まれた後、働きながら子育てができるような支援や、サークル活動等があればよい。
- ・新婚世帯に対する経済的支援があるとよい。
- ・中古の戸建（空き屋）を改修して住めるようになればよい。マンションより戸建がよい人もおられる。
- ・1Fを店舗に、2Fを居住スペースにする戸建が集まれば、そうした生活スタイルを好む人が集まってくる。
- ・ひとり暮らしの人でも住みやすい地域をめざすのがよい。その後カップルになるかもしれない。
- ・近隣に便利なまちが多いので転出しやすい。八幡に拠点を置くことの強みをアピールできるとよい。
- ・シェアオフィスを設けたり、起業への支援を充実し、起業したい人の移住を促進することも考えられる。

(4) 結婚・子育てについての考え

① 結婚・出会い

- ・起業したばかりのため結婚のことまで考えられない。
- ・出産適齢期に結婚して、子どもを産みたい。
- ・交際相手が遠方に住んでいるので、結婚すれば八幡市に住み続けることはできないと思う。
- ・まちコン、八幡市を知るツアーなど人が出会うイベントを行う。イベントの企画段階から若い人にも参加してもらおう。うまくいけばカップルになるかもしれない。

② 子育て

- ・将来的には子どもを持ちたいと思っている。子育て環境について気にはなっているが詳しく調べていない。
- ・「そよかぜ」には様々な月齢の子どもがきているので刺激になってよい。「すくすくの杜」は赤ちゃんスペースが仕切りで分けられていて安心。保育士や他のお母さんにさまざまなことを相談できて安心である。
- ・自宅の近くで保育所・幼稚園に子どもを預けられるとよい。
- ・子どもを遊ばせることができる公園が欲しい。近所の公園は小さく、雑草が生えており、遊具も少ない。
- ・習い事をさせられるような教室が近くに少ないように思う。
- ・小学校では地域の歴史や伝統を学べると良いと思う。子どもに茶道を教えているのは良いと思う。
- ・年齢の若いお母さんとママ友になれるかが不安である。

(5) その他

- ・自治会活動は、「つかず、離れず」程度の参加がよい。
- ・地域活動に参加してみたいが、きっかけがない。